



新潟市立庄瀬小学校 令和6年度 学校だより
～人、まち、自然がわたしたち「みんな」の学校～



ひまわり

令和6年9月24日

本物に触れる価値

子どもたちは自分のタブレットで、インターネットを使って言葉や画像によって多くの情報を瞬時に得ることができますが、実際に見たり、触れたりすることでその対象への理解は何倍にも深まります。

例えば6年生は、修学旅行の事前学習で、佐渡について様々な知識を得てから佐渡の地を回りました。道遊の割戸やトキを実際にその目で見、ろくろや金の精製を体験することで佐渡への理解を深めました。5年生は、米づくりを通して、農業の大変さや地域の方の支援などを実感することができました。その他の学年でも、総合や社会、生活に限らず、全ての教科学習の中で体験的な学習を進めています。

このように庄瀬小学校では、自分の目で見ること、聞くこと、触れること、体験することが大切であり、実際に体験したり、多くの経験を積んだりすることで、感動や気づきを得て、子どもたちが学習意欲を向上させ、本当の学力を高めることにつながると考えています。

また、児童数の少ない当校では日常的に人とかかわる機会が少ないので、学校外の人とかかわる場を設け、子どもの世界を広げたいと考え、外国語やプログラミングの外部講師や地域の皆さんを先生として学校に招いています。

こうした思いをもって計画した「わくわくコンサート」を20日に行いました。当校の卒業生であるソプラノ歌手・吉田早穂さんの歌声を「庄瀬の子どもに生で聴かせたい」とずっと思っていて、今回庄瀬コミュニティ協議会のご支援をいただき、ついに実現できました。早穂さんとお仲間のフルート奏者・中島美紗さん、ピアノ奏者・高橋歩美さんのまさにわくわくの詰まったコンサートとなりました。

早穂さんが「小学生が楽しめるように」と考えて選んでくれた10曲とフルートでのクイズ。早穂さんの圧倒的な声量の迫力や表情を含めた表現力、演奏のお二人の美しく温かい音色。3人のプロの技が融合した素晴らしい時間になりました。1時間以上集中して聴いていた子どもたちや聴衆の大人たちの表情から、聴いていた全ての人たちが、このコンサートに魅せられ、酔いしれたことが強くうかがえました。



演奏後、6年生からの質問コーナーがあり、「プロを目指した理由」や「夢の実現に必要なこと」について、お答えいただきました。

今回のコンサートで本物に触れた子どもたちが、大きな刺激を受け、新しい夢を抱いたり、自分のもっている夢を膨らませてくれたりしていたらうれしく思います。当校では今後も、地域や保護者の皆様のご協力を得ながら、子どもたちの夢の実現の一助になるような本物に触れる体験活動を大切にしていきたいと考えています。



健闘を見せる

7月26日（水）にビッグスワンで行われた新潟市陸上競技記録会に5，6年生の選手12名が参加しました。暑い日が続く練習時間を制限された中でしたが、オリンピックに負けない頑張りを見せ、自己ベストを出した子が多く見られました。



【入賞】	5年女子100m	第1位	小千田百合音	記録	15秒37
	6年女子走り幅跳び	第9位	針貝海良	記録	3m15cm

秋の実りを収穫する

9日（月）に学校田の稲刈りを行い、19名のボランティアの皆さんが4，5年生の作業をサポートしてくださいました。

5年生は夏休みの猛暑の中でも当番を決めて、田の水の管理を頑張ってくれていました。その甲斐あって、稲の実りは昨年よりも良かったそうです。

稲刈り作業では、鎌で稲を刈り取って、10株程度の束にしてそれらをまるけ（束ね）ていきました。今年はファーム菱潟さんがはざ木を復活させたということで、5年生がファーム菱潟さんまで歩いて行き、はざ木に稲を掛けるという貴重な体験をしてきました。

この後、はざ木で乾燥させたものを含めて脱穀、精米を行い、文化祭での販売に続いていきます。



（文責：校長 平出 靖）